

JENESYS2018 ASEAN 派遣プログラム第 6 陣の記録

テーマ：日本文化交流

派遣国：ミャンマー連邦共和国

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、日本の大学生計 18 名がミャンマー連邦共和国へ派遣され、派遣国における、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019 年 1 月 22 日～1 月 30 日の日程で「日本文化交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、政府関係者との面談、日本の ODA サイト等の現場の視察を行い、日本と派遣国との関係、及び日本の国際貢献に関する知見を深めました。そして、地元の大学交流において、同世代の学生との友情を深めるとともに、日本や日本の文化、教育についての特色の説明、実演を行い、日本の魅力を発信しました。また、ホームビジットを行い、地域の人々と交流し、相互理解を深めました。帰国前の報告会では、プログラム中の発見と、プログラム経験を活かしたアクション・プラン（帰国後の活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】 東海大学 6 名、広島大学 6 名、横浜国立大学 6 名

【交流時の日本事情の説明概要】

東海大学：日本の温泉文化について

広島大学：広島における原爆投下後の復興と平和都市の取組みについて

横浜国立大学：日本の学校教育の特徴について

文化の実演披露：ソーラン節、折り紙・書道

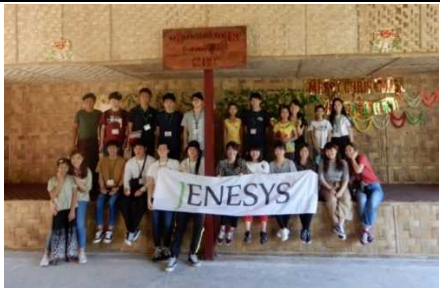
2. 日程

1月22日(火)	【オリエンテーション】、成田国際空港出発 ヤンゴン国際空港到着
1月23日(水)	【表敬訪問】在ミャンマー日本国大使館 【訪問・講義聴講】JICAミャンマー事務所 【ODA活動サイト視察】AAR JAPAN 障がい者職業訓練校
1月24日(木)	【学校交流①】ヤンゴン経済大学 【文化視察】シュエダゴンパゴダ
1月25日(金)	【学校交流②】ヤンゴン大学
1月26日(土)	【ホームビジット】ヤンゴン市
1月27日(日)	【文化視察】トワンテ地区
1月28日(月)	【学校交流③】アウン ザヤ ミン 僧院学校、ピニャデパン私立 高校、【ワークショップ】

1月29日(火) 【成果報告会】

1月30日(水) 帰国

3. プログラム記録写真

	
1月23日【表敬訪問】 在ミャンマー日本国大使館	1月23日【訪問・講義聴講】 JICA ミャンマー事務所
	
1月23日【ODA 活動サイト視察】 AAR JAPAN 障がい者職業訓練校	1月24日【学校交流①】 ヤンゴン経済大学
	
1月24日【文化視察】シュエダゴンパゴダ	1月25日【学校交流②】ヤンゴン大学
	
1月26日【ホームビジット】	1月27日【文化視察】トワンテ地区

	
1 月 28 日【学校交流】 ピニャデパン私立高校	1 月 29 日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 学生（東海大学）

ヤンゴン経済大学、ヤンゴン大学、僧院学校の学校交流の時間は、非常に濃い時間であり有意義でした。学校交流において特に印象に残ったのは、ミャンマーの学生の人柄の良さ、大学生の英語力の高さ、言語を超えたコミュニケーションでした。今回の第一ミッションは日本の魅力を伝えることでしたが、ミャンマーの学生は日本に対して興味や信頼を強く持っているように感じました。アニメや漫画、渋谷のかわいい文化などのポップカルチャーをはじめとして、桜や富士山などにも関心をもってくれています。私たち派遣メンバーや日本製品は、日本の代表でありそれらのイメージが日本との関係に直結することを強く感じました。トワンテ地区を視察した時に会った子どもたちは、ミャンマー語以外話することが出来ませんが、私が日本語で挨拶をすると、正確な発音で言い返すことができ、子どもたちの耳の良さに、とても驚きました。今回の派遣で Facebook では 400 人を超えるミャンマーの人とつながることができました。日本の魅力的な部分やマナー、言葉などを個人的にも発信していきたいと思います。

◆ 学生（広島大学）

プログラムの中で一番心に残ったのは、NGO 難民を助ける会（AAR JAPAN）の障がい者職業訓練校です。私は NPO/NGO という草の根レベルの活動にとっても興味を持っていたので、その現状を見学させていただいたことは、貴重な体験となりました。こちらの訓練校では、先天性の障がいを持った人から地雷の事故で足を失った人まで、様々な境遇の人々が訓練を受けていました。今回の研修では、洋裁コースの方たちと足踏み式ミシンの体験をさせていただいたのですが、実際に自分がやってみて初めて、彼らがいかに難しいことをこなしているのかがわかりました。彼らのひたむきな姿と心の温かさに感動しました。このような支援は、人々と身近に関われる NGO だからこそできることだと感じました。企業や個人からの寄付金や、この訓練校が運営するお店の収入から資金を得ているということでしたが、まだまだ足りていないとわかりました。私たち学生にできるのは現状を知り、1 人でも多くの人々に伝わるように情報を広めることだとわかったので、自分にできることから行動に移していきたいと思いました。

◆ 学生（広島大学）

僧院学校でうかがった院長先生のお話の中に「仏教の教えもあって、子どもたちが皆争いごとを起こさず、平穏に暮らしているから、先生も安心して勉強を教えられる」という言葉がありました。ミャンマー人と交流した時の、あの落ち着いた安心感のある雰囲気は仏

教が関係しているのかも知れない、と思いました。また、院長先生に言われた言葉を、私は一生忘れることができないと思います。それは「明日のことを考えずに、今日を精一杯いきなさい。物欲がありすぎると自分を苦しめるが、それを捨てていくと豊かな人生が送れる。しかし、若くて元気な間に、目標はいつも高くもって、それを１歩ずつ目指しなさい」というものです。まるで自分はこの言葉を聞くために今回ミャンマーに呼ばれたのではないかと思いました。常に大学生活で掲げている目標に闘争心をもって取り組んでいましたが、将来について考えすぎて悶々としていたこと、そして、自分を振り返る余裕もなく、毎日めまぐるしく生きていたからです。目の前にあることに丁寧に取り組み、少しずつ努力していけばよいのか、とストーンとこの言葉が自分の腑におち、今回のプログラムでは、自分の中で、ミャンマーについての知識だけではなく、心の中まで磨かれた感覚です。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 学生（ヤンゴン大学）

日本の大学生による日本の国、文化、各大学についての発表はとても良かったと思います。特にソーラン節の踊りは大好きになりました。もっとしっかり踊り方を習いたいと思いました。また、折り紙で鶴を折ったり、習字を教えてくれてありがとうございました。この交流で、日本や日本語に興味が湧いてきました。日本人はミャンマーのことを見下しているのではないかと思っていましたが、大学生たちはとても気持ちの良い人たちでした。私達の国の良いイメージを持ってきて嬉しく思います。日本とミャンマーの対話が今後ますます強固なものになっていくことを期待しています。また私達の国に来てください。私達もできるだけ早く日本を訪問する機会があればと思っています。

◆ 学生（ヤンゴン経済大学）

原爆で破壊された後の広島の復興について学ぶことができたことが興味深かったです。日本の教育制度も素晴らしいと思いました。特に生徒が学校で掃除をするというのはとても良いことだと思います。ミャンマーと日本の学生がお互いの踊りを教えあって、一緒になって舞台の上で踊ったことがとても嬉しかったです。昼食時には日本人の学生と話をしましたが、教育制度やライフスタイルなどについて語り合いました。日本人の学生はみんなフレンドリーで、知り合いになることができとても嬉しいです。

◆ 学生（ピニャデパン私立高校）

日本の大学生達と会えて楽しかったです。日本の大学生たちは明るく、好奇心旺盛でした。ミャンマーの民族衣装を着た時、よく似合っていて嬉しかったです。また、ミャンマー語で挨拶をしてくれました。初めて会ったのに、すぐに打ちとけることができました。日本の女子学生は皆、綺麗で、話し方や仕草がとても可愛かったです。日本とミャンマーの文化、言葉、伝統的な遊びをお互いに教えあいました。言葉は通じませんでしたが、笑いが止まりませんでした。みんなで一緒にゴミ拾いした時も楽しかったです。新しい友達が出来ましたし、日本人を好きになりました。日本とミャンマーの友好も一層深まったと思います。別れの時は悲しかったです。遠い日本からわざわざ来てくださって感謝しています。日本の学生に、ミャンマーとこの僧院学校に、また来てほしいです。私も日本にも遊びに行きたいです。

6. 参加者の対外発信

 Jenesys 2018 Student Ambassadors We visited Yangoon University of Economics and Shwedagon Pagoda. We gave presentations and made performances each other in Yangoon University of Economics. And we talked about a lot of things with the students. We enjoyed cultural exchange.	 Jenesys 2018 Student Ambassadors We visited Yangoon University of Economics and Shwedagon Pagoda. We gave presentations and made performances each other in Yangoon University of Economics. And we talked about a lot of things with the students. We enjoyed cultural exchange.	 jenesys_ynu • フォロー中 jenesys_ynu Day 8 We visited monastery school in Yangoon city. Their smiles are wonderful ☺ The English education starts at the age of 5! Moreover, 9 grade students were studying science with using English textbooks when we went there.
ヤンゴン経済大学を訪問し、学生たちと交流しました。相互にプレゼンとパフォーマンスを披露しあい、非常に充実した時間となりました。	トワンテ地区を訪問し、織物や陶芸が手仕事で作られている工房や、自然に囲まれた村に滞在しました。村の人たちのホスピタリティに感銘を受けました。	ヤンゴン郊外の僧院学校を訪問。楽しそうに学ぶ子どもたちの笑顔が印象的でした。英語で物理などの授業が行われている様子に大変驚かされました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

3. Holding Myanmar booth at International Festival in our university 	【東海大学】 学内で開催される国際フェスティバルの実施時に、ミャンマーのブースを出展し、来場者に今回のプログラム経験を紹介します。
2. Spreading our findings about Myanmar culture  6th Feb @Hiroshima University	【広島大学】 帰国 1 週間後に学内で報告会を実施し、多くの学生に、私たちがミャンマー滞在を通して感じたミャンマーと日本の魅力について紹介します。
	【横浜国立大学】 渡航前に作成したグループの SNS アカウントを使用し、引き続き日本とミャンマーについて発信を行い、日本とミャンマー間のつながりを深めていきます。